

## 第3回橿原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会 議事要旨

1. 日時 平成30年10月26日(金) 13:55～15:55
2. 場所 橿原市役所分庁舎(ミグランス) 2F 会議室A
3. 出席委員

荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
麩巻 峰夫	独立行政法人国立高等専門学校機構 和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
樋口 能士	立命館大学 環境都市工学科 教授
岡崎 益光	橿原市 副市長
豊芦 弘	橿原市 法務専門官
森嶋 勇人	橿原市 環境づくり部長
4. 次第
  - 1) 開会
  - 2) 報告
    - (1) 第2回事業者選定委員会議事要旨について
    - (2) これまでの経過について
    - (3) 資格審査の結果について
  - 3) 議題
    - (1) 本審査の流れについて
    - (2) 技術提案書の概要及び内容確認について
    - (3) 委員会での評価取りまとめ方法について
    - (4) 非価格要素時におけるヒアリングの実施について
  - 4) 確認事項  
第4回事業者選定委員会について
  - 5) 閉会

### 配布資料

- 【資料1】 第2回事業者選定委員会議事要旨
- 【資料2】 これまでの経過について
- 【資料3】 資格審査の結果について
- 【資料4】 本審査の流れ
- 【資料5】 技術提案書の概要
- 【資料6】 委員会での評価取りまとめ方法
- 【資料7】 ヒアリングタイムテーブル

【別 冊】提案書類（技術提案書及び事業計画書） 副本

【別 冊】募集要項及び質疑回答集

## 5. 議事

### 1) 開会

### 2) 報告

#### (1) 第2回事業者選定委員会議事要旨について

事務局から、資料1により、第2回事業者選定委員会議事要旨について報告を行った。

#### (2) これまでの経過及び本審査の流れについて

事務局から、資料2、3により、これまでの経過及び本審査の流れについて報告を行った。委員からの主な質疑回答は以下のとおり。

委員：対話において、長期包括運営委託における主旨の認識や修繕などの維持補修の考え方に乖離があったとはどのような点か。

事務局：大規模修繕工事（設備単位の全面的な更新）の考え方を含め、長期包括運営委託における事業スキームに対する認識不足があったと考えている。

### 3) 議題

#### (1) 本審査の流れについて

事務局から、資料4により、本審査の流れについて説明を行った。

#### (2) 技術提案書の概要及び内容確認について

事務局から、資料5により、技術提案書の概要及び内容確認について、説明を行った後、委員より以下のとおり意見があった。

委員：オペマネの配置場所について、確認する必要がある。

委員：構成企業の具体的な役割を確認する必要がある。

委員：SPCのスキームについて、少し認識が違うように見受けられる。

事務局：本来SPCはコンパクトにするものであり、運転等を構成企業に委託するのが一般的と思われる。

委員：保証値は施設基準値と全て同値であるが、元々の施設基準値が厳しいものなのか。

事務局：各種法令に則ったものであるため、最低限クリアすべき数値である。

委員：現状の基準値のモニタリングの頻度を教えて欲しい。

事務局：月1回のモニタリングである。また、「水素イオン濃度」、「窒素含有量」、「リン含有量」、「化学的酸素要求量（COD）」については、自動計測を実

施している。

委員：現状の運転について、何か資料は提供しているのか。

事務局：施設の視察における参考資料の閲覧時において、運転実績に関する資料を提供している。

委員：運転管理状況における見える化の活用方法について、確認する必要がある。

委員：健全度評価について、5つの提案があるが、具体的にいつどのように使用するのかがあまりわからない。

委員：オーバーメンテナンスの抑制についても同様である。

委員：ヒアリングにて確認する必要がある。

委員：労働安全衛生におけるトップマネジメントは誰のことかわからない。

委員：労働安全衛生におけるメンタルヘルスについて、体系的に示す必要がある。

委員：SPCへの資金的サポートに関し、本事業が受ける影響について、確認する必要がある。

委員：近隣からのサポート体制について、大規模災害が発生した場合、近隣からのサポートは困難でないか。この点についても確認を行う必要がある。

委員：二酸化炭素排出量に関し、現状と同様であるが、現状より削減する方法について、確認する必要がある。

委員：機械保険の内容について、確認する必要がある。

委員：市民への対応等について、積極的な提案がなされていないように見受けられる。

委員：薬品の選定試験は、そのときの浄化槽汚泥により安定条件が異なると考えられる。そのため、選定試験の結果の扱い方やその他のデータとの関わりについて、確認する必要がある。

### (3) 委員会での評価取りまとめ方法について

事務局から、資料6により、委員会での評価取りまとめ方法について説明を行った。その結果、取りまとめ方法は、「合議制」と決定された。

### (4) 非価格要素時におけるヒアリングの実施について

事務局から、資料7により、非価格要素時におけるヒアリングの実施について説明を行った。

4) 確認事項

- ・第4回は平成30年11月2日（金）10時から橿原市浄化センターにて開催し、ヒアリング及び非価格要素審査を行う
- ・第5回は平成30年11月16日（金）14時から橿原市浄化センターにて開催

5) 閉会

以上